

ちいさいモモちゃんえほん

ソースなんてこわくない

松谷みよ子/文 武田美穂/絵



講談社

ちいさいモモちゃんえほん^⑩
ソースなんてこわくない

文／松谷みよ子（まつたにみよこ）
絵／武田美穂（ただみほ）

1997年1月25日 第1刷発行

装丁／坂川栄治

N.D.C. 913 28p 17.0cm

発行者／野間佐和子

発行所／株式会社 講談社 東京都文京区音羽2-12-21 郵便番号112-01

電話／東京(03)5395-3534(編集部)・東京(03)5395-3625(販売部)・東京(03)5395-3615(製作部)

印刷所／共同印刷株式会社 製本所／大村製本株式会社 落丁本・乱丁本は、小社書籍製作部あてにお送りください。送料は小社負担にておとりかえいたします。なお、この本についてのお問い合わせは児童局幼児図書出版部あてにお願いいたします。定価はカバーに表示しております。

本書の無断複写(コピー)は著作権法上での例外を除き、禁じられています。

©Miyoko Matsutani & Miho Takeda 1997 Printed in Japan

ISBN4-06-261062-0 (児幼)

ちいさいモモちゃんえほん

ソースなんてこわくない

松谷美津子 文 武田美穂 絵

江苏工业学院图书馆
藏书章



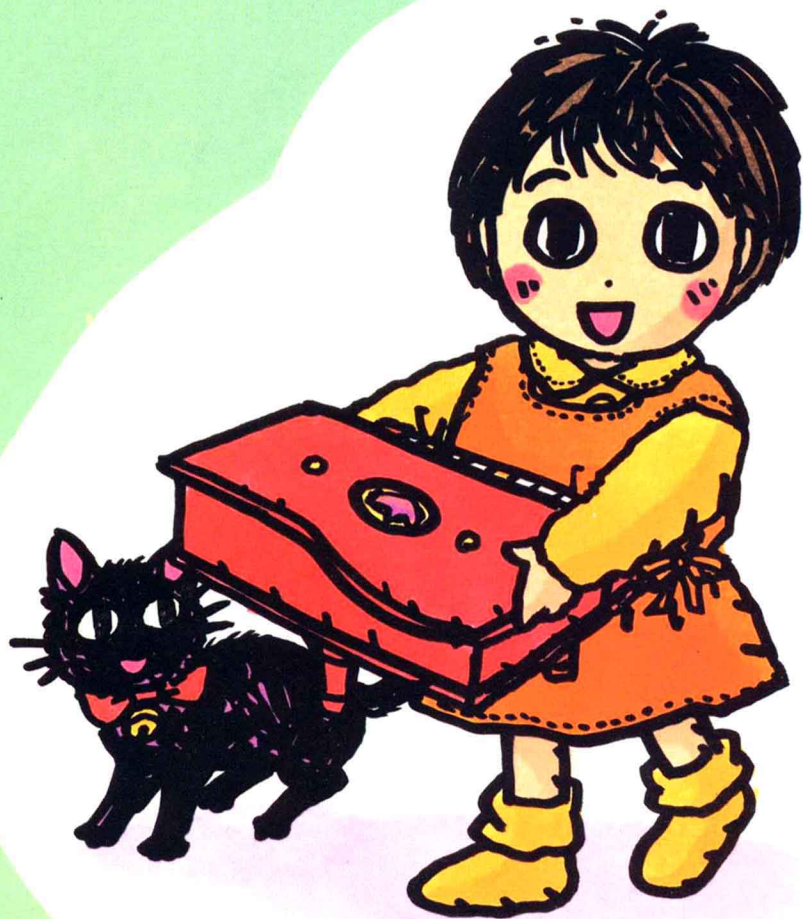
講談社

モモちゃんはこのごろ、おもちゃのピアノに
むちゅうなんです。

ほいくえんからかえってくるとすぐ、あかい
ピアノをだしてたたきはじめます。

チン	チン
トン	トン
トン	トン

え？なにをひいているのかって？つまりね、
こうなんです。



ちよう　ちよ
ちよう　ちよ
なの　は　に　と　ま　れ

ここまで　ひくと、また、

ちよう　ちよ
ちよう　ちよ
なの　は　に　…



ごはんがすむと、またはじめます。

ちよう　ちよ

ちよう　ちよ

な　の　は　に　と　ま　……

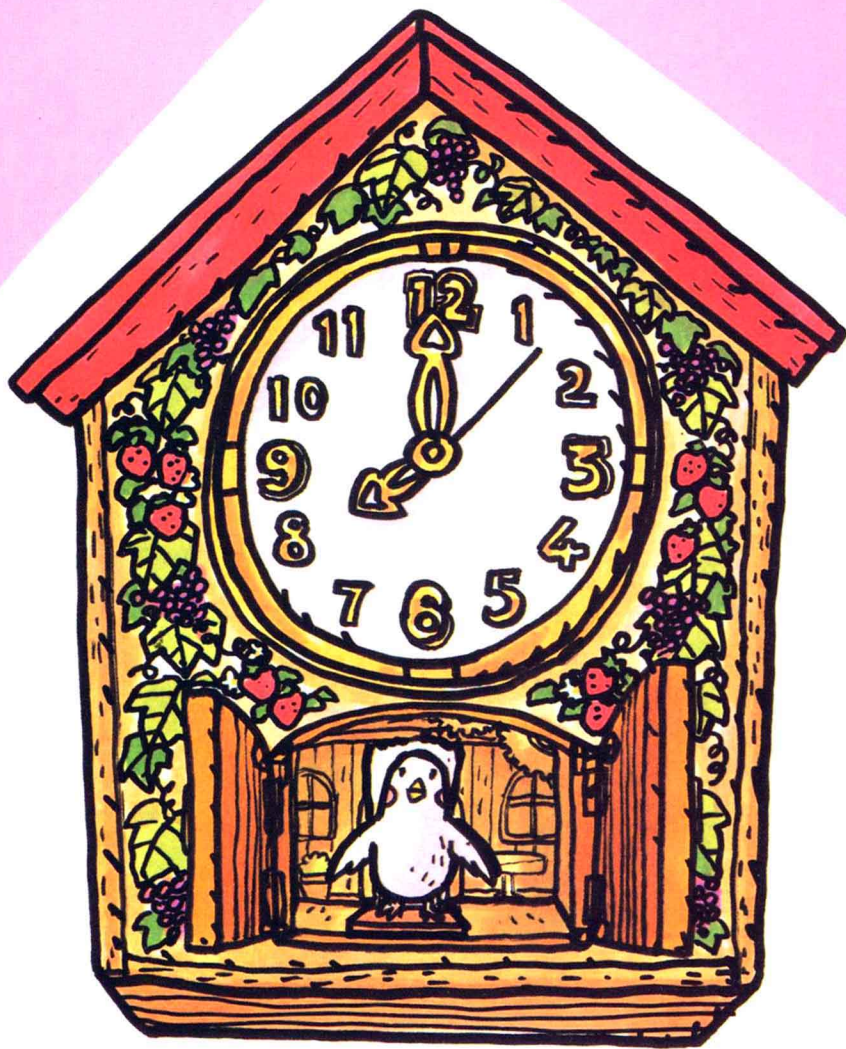
そのうち　はとどけいが、パポー、パポー、
ポーって、やつつも　なきました。

それなのに　モモチちゃんたら、まだ　やっ
て　います。

ちよう　ちよ

ちよう　ちよ

な　の　は　に　……



とうとう ママまが いいました。

「モモちゃん、あのね、よる おそくまで ピアノぴあのを
ひいて いるとね、へびが くるわよ。」

「え、へび？」

「そうよ、へびは おんがくが だいすきな。だから、
シユルシユルシユルしゅるしゅるしゅるつて、ほら、まどの そとに きて
いるかも しれない。」

「こわいね。」

「そうよ。だから、ピアノぴあのは やめて、ねんねよ。」

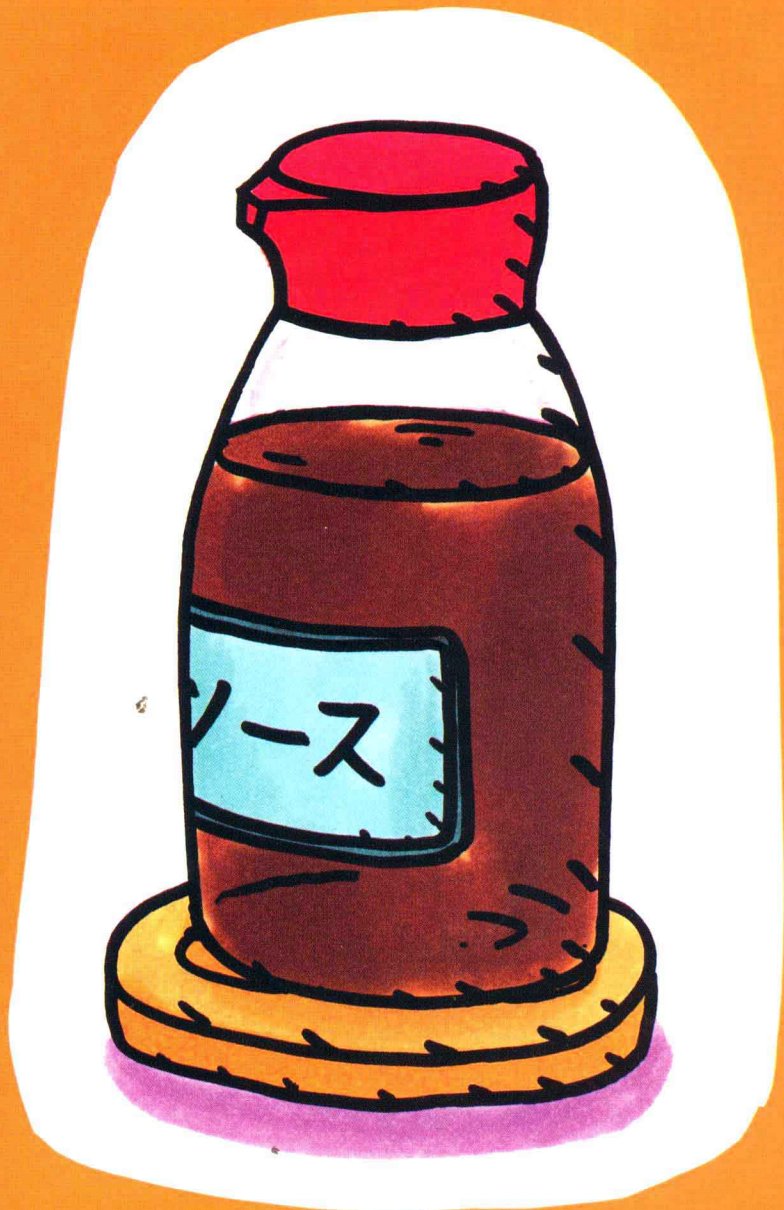


「あのね、ママ。へびがきたらソースかけちやおう。」

「ソース？」

ママは へんな かおを しました。ソースかけたら、へび、どうするかしら。くろいから、こわいって、にげるかも しれませんね。

「そうねえ、じゃ、きたらソースかけちやえ。」

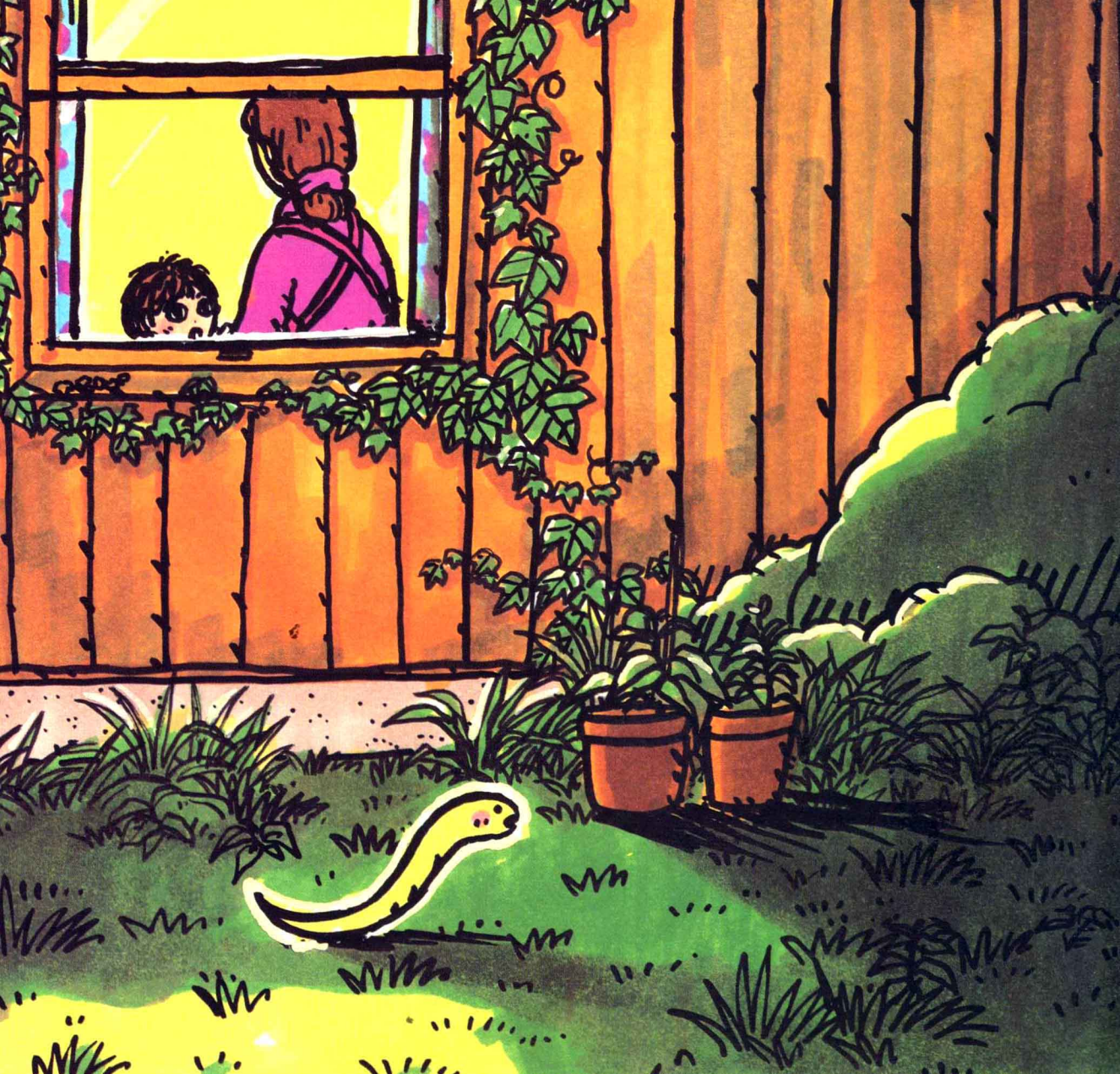


ところがね、まどの そとに、この とき、

ほんとうに へびの ぼうやが きて いたんです。

へびの ぼうやは この はなしを きくと、

びっくりして、しっぽを たてて にげだしました。



「おかあさん。こわいよ、ソース かけるって。」

「ソースだって？ だれがだえ。」

すると、へびの おとうさんが いいました。

「ソースなんて こわく ないさ、おいしいんだぞう。」

「ほんと？」

「ほんとさ、りんごいりの ソースなんてのは、ことに

うまい。それをだ、コロツケと いう やつに、

たらりと かけて たべると、もつと よろしい。」

へびの おとうさんは、したを ペろペろ させて

いいました。

